授業科目名・形態	医療福祉特別講義　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	石岡和志　平林朋子　今野修　田中誠	実務経験の有無	有	開講期	４年前期
科目ナンバリング	W5-4010R				

【授業の主題】

本講義では、最初に医療福祉及び医療ソーシャルワーカーの概念、歴史について学びます。そして、医療ソーシャルワーカーの業務を理解したうえで、医療ソーシャルワーカーを中心とした多職種連携について学びます。その他、患者・家族のセルフ・ヘルプグループ活動についても学びます。

【到達目標】

１．医療ソーシャルワーカーの概念について理解する。
２．医療ソーシャルワーカーの歴史について理解する。
３．医療ソーシャルワーカーの業務について理解する。
４．入退院における患者・家族への支援について理解する。

【授業計画・内容】

第１回　医療ソーシャルワーカーの概念①
第２回　医療ソーシャルワーカーの概念②
第３回　医療ソーシャルワーカーの歴史①
第４回　医療ソーシャルワーカーの歴史②
第５回　医療ソーシャルワーカーの業務①
第６回　医療ソーシャルワーカーの業務②
第７回　患者・家族のセルフ・ヘルプグループ活動①
第８回　患者・家族のセルフ・ヘルプグループ活動②

【授業実施方法】

講義形式。学生の授業への積極的な参加を目的としてグループワークを適宜実施する。社会福祉士国家試験及び精神保健福祉士国家試験対策も随時行い、実践的な内容とする。

【事前・事後学習】

毎回、「保健医療論」のテキストを中心に 2 時間の予習及び講義内容を踏まえた 2 時間の復習を行うこと。社会福祉士国家試験及び精神保健福祉士必須科目と密接に関わっているので、3 年次まで開講された内容を復習してほしい。

【主な関連する科目】

保健医療論、社会保障論Ⅰ・Ⅱ、貧困に対する支援

【教科書等】

関連する科目の教科書を使用する。

【参考文献】

適宜授業で紹介、配布する。

【成績評価方法】

成績評価は、授業への取り組み姿勢（10%）、提出物（30%）、小テスト（60%）で総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

医療ソーシャルワーカーとして勤務してきた経験を活かし、医療ソーシャルワーカーの業務について理解を深めることができる実践的な講義としたい。

【学生へのメッセージ】

復習を重点的に行うことで科目の理解度を深め、社会福祉士国家試験及び精神保健福祉士国家試験対策に役立ててほしい。保健・医療・福祉の各制度は相互に関連しながら機能しており、各制度の関連に着目しながら主体的に学習すること。